



認定試験対策セミナー

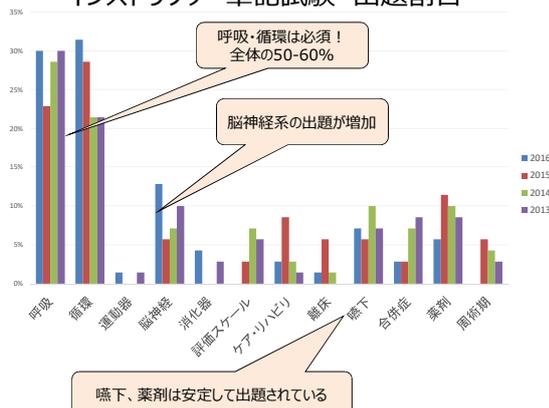
石巻赤十字病院
谷 崇史 (理学療法士)
日本離床研究会
土屋 研人 (理学療法士)

日本離床研究会認定試験 合格率

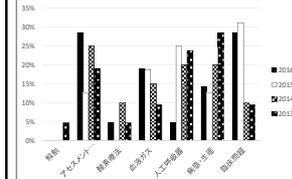
	2013年	2014年	2015年	2016年
離床インストラクター 実技試験	未実施	1名合格	3名合格	1名合格
離床インストラクター 筆記試験	20%	20%	42%	57%
離床アドバイザー 筆記試験	未実施	0%	0%	0%
離床プレアドバイザー 筆記試験	90%	80%	85%	82%

離床プレアドバイザー 288名
離床アドバイザー 0名 (認定試験による合格者)
離床インストラクター 5名
(2017年4月現在)

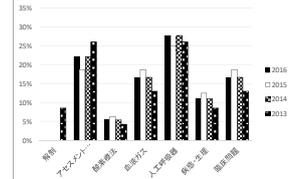
インストラクター筆記試験 出題割合



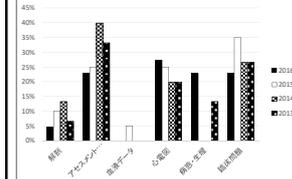
呼吸 出題項目 (インスト)



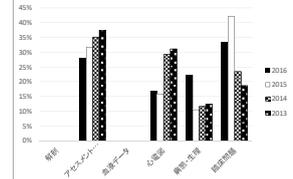
呼吸 出題項目 (プレ)



循環 出題項目 (インスト)



循環 出題項目 (プレ)



ポイント ② 時間配分

後半は症例問題 ⇒時間が欲しい

五肢複択の問題にどう対応するか？

長文の問題にどう対応するか？

筆記試験 例題 1

心疾患のある患者を担当することになった。離床前の初期評価として心音をアセスメントする場合に、心音の聴診部位で誤っているものを1つ選べ。

選択肢：

1. 三尖弁：第4肋間胸骨右縁
2. エルブ領域：第3肋間胸骨左縁
3. 僧帽弁：左第5肋間鎖骨中線上付近
4. 肺動脈弁：第2肋間胸骨左縁
5. 大動脈弁：第2肋間胸骨右縁

筆記試験 例題 1

選択肢:

1. 三尖弁: 第4肋間胸骨右縁
2. エルブ領域: 第3肋間胸骨左縁
3. 僧帽弁: 左第5肋間鎖骨中線上付近
4. 肺動脈弁: 第2肋間胸骨左縁
5. 大動脈弁: 第2肋間胸骨右縁



答え: 1

筆記試験 例題 2

冠動脈バイパス術を行った80歳の男性。術後1日目はトイレまでの歩行を行い、正常洞調律で経過。術後2日目、歩行を再び行おうと訪室すると下記の不整脈が出現していた。患者さん本人に話を聞くと術前にも同様の不整脈が出ていたとのこと。カルテ上確認も取れた状態である。自覚症状としては軽い息切れ感と動悸を訴えている。離床時の判断として最も正しいものを1つ選べ。

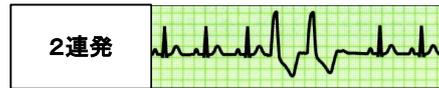


選択肢:

1. この不整脈はPVC 2連発にあたり、息切れを認めるため、ベッド周辺のADL程度に離床をとどめた
2. この不整脈はPVC 2連発にあたるが、術前より認める不整脈であるため昨日より少し距離を延ばして歩行した
3. この不整脈はPVC 2段脈にあたり、息切れを認めるため、ベッド周辺のADL程度に離床をとどめた
4. この不整脈はPVC 2段脈にあたるが、術前より認める不整脈であるため昨日より少し距離を延ばして歩行した
5. LOWN分類ではA4以下にあたるため問題ないと判断し、昨日より少し距離を延ばして歩行した

心電図講座資料
より一部改変

心室性期外収縮 (PVC)



2段脈



冠動脈バイパス術を行った80歳の男性。術後1日目はトイレまでの歩行を行い、正常洞調律で経過。術後2日目、歩行を再び行おうと訪室すると下記の不整脈が出現していた。患者さん本人に話を聞くと術前にも同様の不整脈が出ていたとのこと。カルテ上確認も取れた状態である。自覚症状としては軽い息切れ感と動悸を訴えている。離床時の判断として最も正しいものを1つ選べ。



選択肢のポイント: 心電図波形



筆記試験 例題 3

脳神経領域の出題範囲

出題者が回答者に
押さえてほしい情報は
なにが考える。

- ・脳血流の維持と血圧管理
- ・脳圧コントロール

筆記試験 例題 3

脳出血患者の離床前アセスメントで投薬状況を確認したところ、脳浮腫治療薬が処方されていた。脳浮腫治療薬に関する記載のうち、誤っている組み合わせを1つ選べ。

- グリセオール®は、脳浮腫治療薬の中で作用発現時間が最速である。
- マンニトールS投与中は脱水に注意が必要である
- グリセオール®投与後は、反跳現象が出現することがある
- グリセオール®投与中は、離床可能である
- グリセオール®、マンニトールSには、脳血流増加作用がある

1.a,b 2.b,c 3.c,d 4.d,e 5.a,c

筆記試験 例題 3

【ポイント】 脳浮腫治療薬についての理解

グリセオール®とマンニトールSの判別

- グリセオール®は、脳浮腫治療薬の中で**作用発現時間**が最速である
- マンニトールS投与中は**脱水**に注意が必要である
- グリセオール®投与後は、**反跳現象**が出現することがある
- グリセオール®投与中は、**離床**可能である
- グリセオール®、マンニトールSには、**脳血流**増加作用がある

1.a,b 2.b,c 3.c,d 4.d,e 5.a,c

薬剤の基礎知識講座
資料より(一部改変)

抗脳浮腫薬



	グリセオール®	マンニトールS
抗脳浮腫効果	++	++
作用発現時間	速	最速
効果持続時間	長	短
反跳現象	-	+
薬を急に止めたとき、おさえられた症状が以前よりかえって悪化する現象		++ 緊急時*

* 脳ヘルニアの危険が高い場合

筆記試験 例題 3

a.マンニトールSの説明

- グリセオール®は、脳浮腫治療薬の中で**作用発現時間**が**最速**である
- マンニトールS投与中は**脱水**に注意が必要である
- グリセオール®投与後は、**反跳現象**が出現することがある

c.マンニトールSの説明

- グリセオール®投与中は、**離床**可能である
- グリセオール®、マンニトールSには、**脳血流**増加作用がある

1.a,b 2.b,c 3.c,d 4.d,e (5.a,c)